

# 平成26年度ホタテガイ採苗情報（第6報）

平成26年6月3日

発行：岩手県水産技術センター  
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
 関係漁業協同組合



県南部でも採苗器の投入時期です。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾では水温が水深0m～50mで9～12℃台と上昇してきましたが、付着稚貝が少なく、大型ラーバは確認できませんでした。
  - 宮古湾や平田湾では付着稚貝が多数確認されました。また、県南部では大型ラーバが確認されましたので、そろそろ採苗器投入の時期になりました。
  - 大型ラーバの出現数が少ないと予想されますので、採苗器は多めに準備してしてください。
- < 気仙沼地方の状況（5月28日発行宮城県ホタテガイ採苗通報） >
- 生殖腺指数が低下し、大型ラーバの出現が確認されたことから、採苗器投入の準備を勧めています。

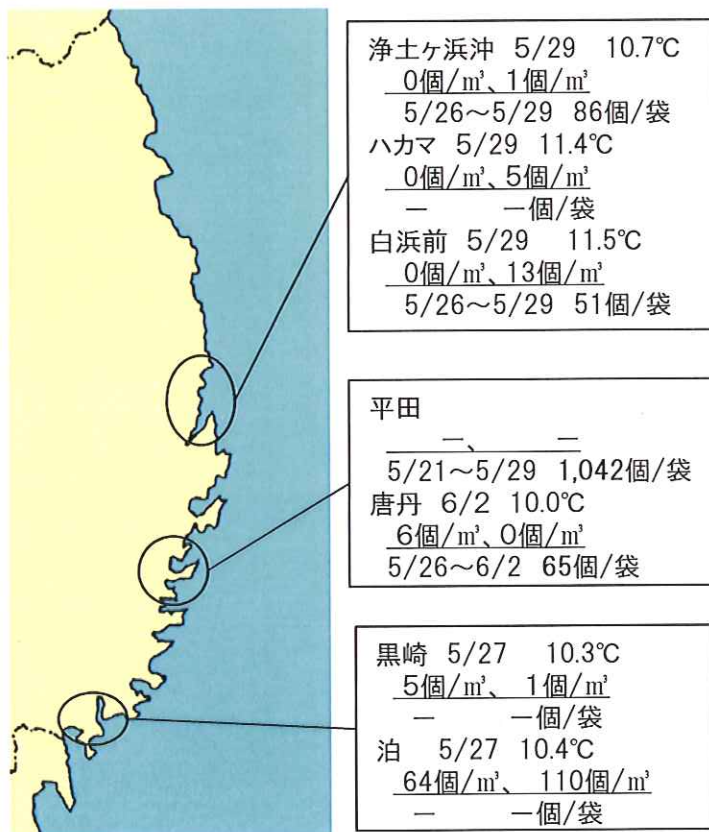


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温  
 ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)  
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

次報は、6月10日に発行する予定です。

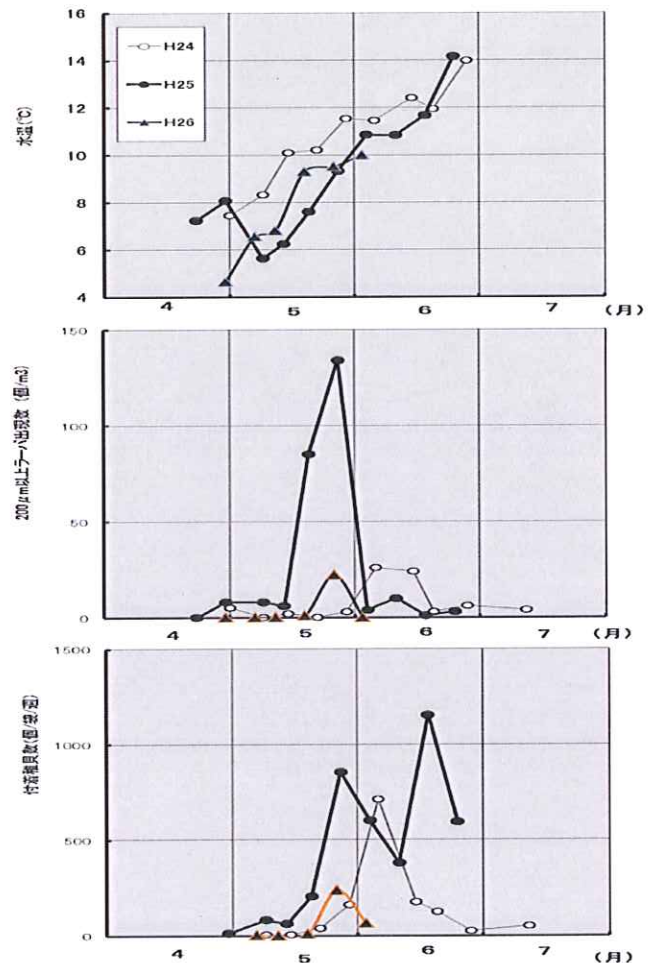


図2 唐丹湾における水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況